

# 東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局  
いわて労連  
No.11  
2011.4.7

## ◆ボランティア受入・記者会見

いよいよ大船渡市の「あづま荘」に全国災対連大船渡ボランティアセンターを開設し、物的支援から人的支援もできる状況になってきました。

4月6日、鈴木本部長、金野事務局長、医労連中野委員長、自治労連高橋副委員長、全労連小松民子副議長、全労連派遣加藤氏が参加し、ボランティアセンター開設にあたっての記者会見を行いました。岩手県共同対策本部と共に全労連も現地に常駐し現地対策をすることになります。



県政記者クラブで記者会見

全労連派遣のボランティアは7日の夜から長距離バスで現地に到着し、8日から活動を始めることになります。

## ◆ボランティアカー2台確保

現地ボランティアが円滑に動けるよう、ボランティアカーをリースで2台確保しました。1号車は8人乗れるワゴン車でボランティアの搬送に使い、2号車は軽トラックで物資搬送などに使います。

6日にボランティア受入のため、資材を満載して、鈴木本部長といわて労連平井書記、全労連小松副議長、加藤益雄・文太郎親子が乗って大船渡に向かいました。



ボランティアカー1号車と受入隊



ボランティアカー2号車

## ◆第5回対策会議

4月4日、共同センター第5回会議をいわて労連会議室で行いました。各団体の取組の交流と、岩手県に要求する内容、ボランティアセンターについて話し合いました。

農民連は29日に大配送を行った後、4月2、3日と炊き出しを行いました。また、女性部で市民向けに誰でも持って行けるように支援物資の青空市を行い、報道されています。民医連では北海道民医連が長期支援で入っています。赤崎地区に診療所を開設する予定です。物資も続々と送られてきています。自治労連では自治体職員の支援で動いています。メンタルの問題も出てきています。医労連・県医労では4月1日人事異動を強行され

ましたが、最終発令は確定されていません。家屋が流出した高田病院職員には住田に仮設住居を作るとのことです。農協労組では農協の職場を訪問し、物資支援をしています。新婦人からは時間が経過し、要求も変わってきていると、問題がだされました。岩商連からは、生活を再開するための現金がない問題、現地の物資配達のポストがもっとほしいなど配達の問題点。いわて生協の牛丼炊き出しの件では、共同対策本部が機能しているから情報提供してできたということ。自由法曹団は法律相談だけでなく、現地調査して、制度を作る政策提言をしたいと話し、共同対策本部に50万円のカンパを頂きました。母親連絡会は、長期的な運動にしていくためメンで広げる運動をしていきたい。生健会は4月1、2日と、全生連などと2トトラックで現地に入る。共産党は現地は温かい汁物の炊き出しがほしい、医療支援は50チーム入っているが引き上げた後はどうするのか、漁業は国家プロジェクトで立て直すことが必要。中小企業対策、就労事業が必要などと話しました。

### ◆保育合研つながりでミルク等

昨年、保育合研が盛岡市で行われましたが、そのつながりで秋田のみつば保育園など3つの保育園からわかば保育園を通じてミルクとオムツの支援物資が届けられました。オムツの袋にはひとつひとつに秋田の園児からのメッセージが添えられていました。ガソリン代に使ってとカンパも頂きました。



秋田の保育園からの救援物資



子ども達からのメッセージが

### ◆愛知から軽自動車が

愛知県の仲さんという方から中古の軽自動車を提供しても良いという話しが来ています。岩手で車検を取り、被災地に送られる予定です。

### ◆電動自転車喜ばれる

全労連・日本医労連から送られた自転車の1台を大船渡社会福祉協議会に贈りました。とても喜ばれたそうです。



全労連からの電動自転車

### ◆五右衛門風呂5ヶ届きます。

被災地で使ってほしいと送られた五右衛門風呂が7日に倉庫に届きます。積み込みの様子はNHKでも放送され、仲介の労をとった片山さんが話をしていました。また、このニュースを見た業者から、需要があれば、燃料とオガライトを何トンでも送ってもいいと言っていると、片山さんから話しが来ています。